

成長戦略の今後の進め方

1. リソース（予算・人材）の重点配分によるインパクトある政策展開

（現状と課題）

- ・ R4.2月の戦略策定後、戦略のビジョンの実現に向け、戦略を着実に事業化（アクションプランの事業数 R4：154、R5：196、R6：248）
- ・ 併せて、県全体のR6予算編成方針において、成長戦略の議論を反映し、「未来に向けた『人づくり』」と「新しい社会経済システム」の構築について、優先的に予算配分することを明記

課題

ビジョンの実現に向けて、更に戦略的に「インパクトある政策」に取り組むため、「機動的に取り組むべき重要領域」を抽出し、対応方針を議論し、県の予算や人的リソースを重点的に配分すべき

（対応案）

- ・ 成長戦略会議において、年度当初に「機動的に取り組むべき重要領域」やテーマを抽出し、取組みの方向性等を議論いただき、「機動的に対応すべき重要課題とその対応方針(仮称)」としてとりまとめて県に提言

（見直し後の姿）

- ・ 県の次年度の**予算の編成方針等に提言を反映させ、新年度の重要政策に戦略的にリソース（予算・人員）を重点的に配分**

3

2. ウェルビーイング指標を活用した政策の立案・実施の展開

（現状と課題）

- ・ 令和6年度当初予算編成において、すべての部門において、ウェルビーイング向上効果等を勘案して施策を検討（「施策設計図」に基づいた施策パッケージの企画・提案など）

課題

今後、ウェルビーイング指標を活用した施策の立案・実施をさらに展開していきたい。

（対応案）

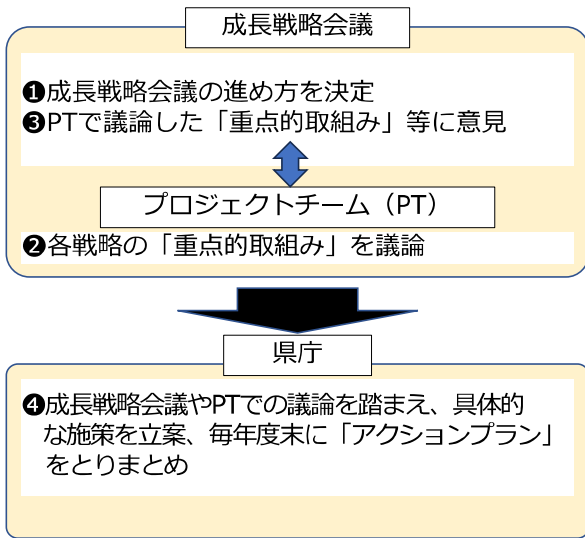
- ・ 経済社会情勢の変化とその変化に関連するウェルビーイング指標（＝県民の主観データ）の分析を踏まえ、EBPMにより、「機動的に取り組むべき重要領域」を抽出し、施策を検討

（見直し後の姿）

- ① WB指標等の分析結果を活用し、県民の多様なニーズを捕捉、ウェルビーイングの向上に大きく寄与する（≡インパクトのある）**「機動的に取り組むべき重要領域」を抽出**
- ② **「機動的に取り組むべき重要領域」を踏まえた部局横断的な施策を立案・実施**

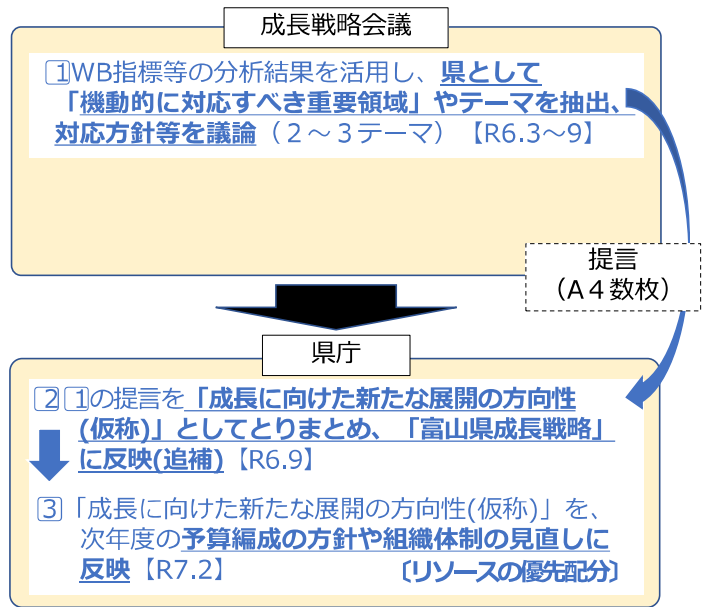
4

<現在>



<対応案>

①～④は継続し、①～③を新たに実施



成長戦略会議からの提言を踏まえて、県において新年度の予算編成の方針等に反映し、
メリハリをつけてリソースを優先配分することで、
戦略のビジョン「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」に向けた取組みを強力に推進！

今後のスケジュール

| 時期 | 成長戦略会議 | 県 | PT・専門部会等 |
|-------|--|---|---|
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●R5第2回会議(本日) ・R6アクションプランの報告 ・R6成長戦略会議の今後の進め方の決定 ・「機動的に対応すべき重要領域」と議論するテーマを選定(3テーマ程度) | | |
| 4～6月 | <ul style="list-style-type: none"> ●R6第1回～第3回会議 ・「機動的に対応すべき重要領域」(案)を議論(各回1テーマ) ⇒ 課題の明確化と対応方針の検討 | | <p><PTの進め方> ※昨年同様、重点的な検討課題を議論し、施策に反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ●R7に向けた各戦略の「重点的検討課題」を抽出 |
| 7～9月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第4回会議(9月) ・「機動的に対応すべき重要課題とその対応方針(仮称)」のとりまとめ、県に「提言」 | <ul style="list-style-type: none"> ●「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」のとりまとめ(9月) ・「機動的に対応すべき重要課題とその対応方針」(提言)を踏まえて、「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」をとりまとめ | <ul style="list-style-type: none"> ●R7に向けた各戦略の「重点的取組み」を議論 |
| 11月 | | <ul style="list-style-type: none"> ●成長戦略カンファレンスの開催 ・「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」や成長戦略の取組みを県内外に発信、関係者の巻き込み ●R7予算編成・組織体制見直しの方針決定 ・「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」を反映 | <ul style="list-style-type: none"> ●R7に向けた各戦略の「重点的取組み」をとりまとめ |
| 11～1月 | | <ul style="list-style-type: none"> ●施策立案(～1月末) ・「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」や「R7に向けた各戦略の重点的取組み」を踏まえた施策の立案 | |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第5回会議 ・R7アクションプランの報告(県→会議) ・R7成長戦略会議の進め方の決定 | <ul style="list-style-type: none"> ●R7アクションプランのとりまとめ・公表(R7予算発表と同時に(2月中旬)) | <ul style="list-style-type: none"> ・県からPT委員へR7アクションプランを報告 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第6回会議 ・「機動的に対応すべき重要領域」(案)の選定 | | |

1 機動的に取り組むべき重要領域の議論 <成長戦略会議>

- ・主観的なウェルビーイング指標データや客観的な統計データを踏まえて、将来の更なる発展に向け、県として機動的に対応すべき重要領域とテーマ(2~3つ)を選定【R6.3月(本日)】
- ・機動的に対応すべき重要領域への対応について議論、方針をとりまとめ(A4数枚程度)【R6.4~6月】

【テーマ選定の考え方】

ウェルビーイング指標データを活用した**施策検討の結果等を踏まえて、社会情勢の変化等に対応するため**に部局横断で取り組むべきテーマの候補案を提示、成長戦略会議で決定

【R6領域案(資料5参照)】

人口未来戦略

(テーマ: 定住人口減少への対応策、交流人口増加策、定住人口増加策)

【検討体制】

成長戦略会議委員 + テーマ毎の有識者等(1~2名)



※必要に応じて、新たに検討組織(専門部会等)を時限的に設置

2 「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」のとりまとめ、成長戦略へ反映 <県庁>

- ・①の対応方針を踏まえて、次年度の県政の基本方針(=「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」)をとりまとめ、富山県成長戦略に反映(追補)【R6.7】

⇒ **成長戦略をアップデートし、喫緊の重要課題に機動的に対応**

【追補のイメージ】

富山県成長戦略(R4.2)



成長戦略追補版(毎年追加)

R7「新たな展開の方向性」

R8「新たな展開の方向性」

.....



3 「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」を次年度の予算編成方針・組織体制の見直しに反映 <県庁>

- ・②「成長に向けた新たな展開の方向性(仮称)」を次年度の予算編成方針や組織体制の見直しに反映【R6.10】

⇒ **メリハリをつけたリソース(予算、人員)の優先配分により、インパクトある政策を生み出す**

4 次年度施策の立案・アクションプランとりまとめ <県庁>

- ・成長戦略会議やPT等での議論を踏まえ具体的な施策を立案、令和7年度アクションプランとしてとりまとめ【R7.2】

⇒ 成長戦略に関する議論を**スピード感をもって施策化**、成長戦略の**取組みを加速**

【アクションプランとりまとめ】

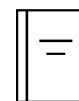
成長戦略会議

「機動的に対応すべき重要領域」の議論

県庁

「新たな展開の方向性」
→R7予算編成方針等

施策立案



重点施策等
を
とりまとめ

R7成長戦略
アクションプラン(R7.2)

PT

各戦略のR7に向けた「重点的取組み」等の議論